

明治時代の愛知県・ 名古屋市の職員を調べる

出典：『尾藩分限帳』

鶴舞中央図書館所蔵の、明治時代の愛知県・名古屋市の職員が掲載されている資料を紹介します。パ
スファインダー「江戸時代の尾張の人物を調べる」では、江戸時代の尾張藩の職員録とも言える分限帳
などをご紹介します。そちらも合わせてご覧ください。

1. 職員録相当資料
2. 翻刻
3. その他

1. 職員録相当資料

番号	年代	資料名	請求記号	備考
1	明治2年訂正	尾藩分限帳	市 11-147	影印本・翻刻あり
2	明治初、9、21、24年	愛知縣官員録	市 11-1	
3	推定 明治初年頃※①	名古屋藩士名簿	市 11-114	くずし字
4	明治3年正月25日写	近古役祿簿	市 11-35	職員録は23丁オ～47丁オ
5	明治3年	惣帳届留	市 11-86	
6	明治4辛未5月11日訂正	位階相當職員録	市 14-52	くずし字
7	推定 明治4年頃※②	名古屋縣官員録 全	市 11-111	8、9とほぼ同じ
8	推定 明治4年頃※②	名古屋縣官員録 全	市 11-112	7、9とほぼ同じ
9	推定 明治4年頃※②	名古屋縣官員録 完	別 0A2-32	7、8とほぼ同じ
10	明治2～5年	犬山藩官員履歴	市 11-11	1丁オ～51丁ウ
11	明治24年3月改正	愛知縣職員録	A28/100/91	
12	明治29年版	愛知縣職員録	NA28/5/96	
13	大正2年版	愛知縣職員録	NA28/5/13	

※①は、「名古屋藩」が、明治初年頃の行政組織のため、その頃と推定されます。

※②は、『新修 名古屋市史 資料編 近代1』（A25/9/II-3-1）のp.34～40に掲載されている「名古屋県官員録」と内容がほぼ同じなため、明治4年頃と推定されます。

! 名古屋藩と名古屋県と愛知県

明治維新の頃、名古屋藩と称していましたが、明治4年の廃藩置県により名古屋県となります。さらに、明治5年に愛知県へと改称しています。

2. 翻刻

『新修 名古屋市史 資料編 近世1』(A25/9/II-2-1)のp.72~141に、『尾藩分限帳』(市11-147)が翻刻されています。また、その解説がp.58から掲載されています。影印本もあります。

番号	年代	資料名	掲載ページ	底本の所蔵機関
1	明治2年訂正	尾藩分限帳	p.72~141	鶴舞中央図書館

『新修 名古屋市史 資料編 近代1』(A25/9/II-3-1)のp.33~41に、「名古屋県・愛知県官員録」として翻刻されています。

番号	年代	資料名	掲載ページ	底本の所蔵機関
1	明治4年	藩庁職員録	p.33~34	徳川林政史研究所
2	明治4年	名古屋県官員録	p.34~40	愛知県図書館
3	明治5年	愛知県官員分課録	p.40~41	名古屋市博物館

3. その他

職員録ではありませんが、細野要斎『葎の滴 見聞雑割』(市9-151)に明治初期の尾張・名古屋藩職制が掲載されています。また、その翻刻が『名古屋市史 政治編 第1』(NA25/5/2)、『新修 名古屋市史 第4巻』(A25/9/4)、『愛知県教育史 資料編 近世1』(NA37/555/II-1-1)に掲載されています。

番号	年代	『葎の滴 見聞雑割』 掲載箇所	『名古屋市史』 掲載ページ	『新修名古屋市史』 掲載ページ	『愛知県教育史』掲載ページ
1	明治2年1月	第23冊 第1丁ウ~第3丁ウ	p.758~759	p.861表9-2	—
2	明治2年9~10月	第23冊 第63丁ウ~第66丁オ	p.766	p.861表9-3	—
3	明治3年 閏10月8日	第24冊 第59丁オ~第61丁オ	p.782~784	p.866表9-4	p.522~524
4	明治3年 閏10月23日	第24冊 第64丁オ~第65丁ウ	—	—	p.524~525

『名古屋藩記録』(市9-116)にも、明治2年11月の職員が掲載されています。また、その翻刻が『名古屋市史 政治編 第1』(NA25/5/2)に掲載されています。

番号	年代	『名古屋藩記録』 掲載箇所	『名古屋市史』 掲載ページ
1	明治2年11月	第11冊 第11丁オ~第39丁オ	p.766~781 (※名前が載っているのはp.766、767のみ)